《新連載・６》

〈協同組合は組合員のものです〉

ご意見～「組合員としてしっかり運営をみていく必要がある」

理事長　高見　優

Ⅰ．前号で私から「ご意見をください」と呼びかけたところ、組合員の皆さんからハガキや手紙が寄せられました。ありがとうございました。

◇…組織が大きくなっていろいろな事業を展開し素晴らしいと思っていましたが、それゆえに内部にいろいろ問題が出てきたのですね。それを率直に公にしてくださったこと自体、ありがたいことです。今までは小回りの利く団体だった…大きくなればやはり集中型を採用して全体を見回しながら、個々の事業所をみていく必要がある。私も組合員としてこれからはしっかり運営をみていく必要があると思います、今まで受け身すぎました。

◇（組合の）運営のご苦労がよくわかりました。『どんな場合にも限度がある』は人間世界全般に通じる名言だと思います。肝に銘じます。

◇…現場を知りませんので何とも…

◇名ばかり組合員で何も出来ないままですが、具体的に何が出来るか考えたいと思いました。

◇むずかしい問題が多くありますが、カネと人はある程度金額を出さないとよい人材は採用できない…。有期雇用は身分が不安定…無期雇用になる方法を考案すべき…。また、働く人が経営者の感覚で仕事をすることが大切だと思います。

◇（気がかりなこと）ある事業所で職員が次々とコロナ陽性になり、自宅待機していたがシフトが回らず陽性のまま勤務せざるを得なくなった、と聞きました。なぜ他の事業所からの応援がなかったのか疑問…それぞれの事業所が独立しているせいなのか…これでは利用者はもちろん職員に対してとても不誠実なことだと思います。個々について統合・連携が取れていなければ盤石な組織とは言えません…。私もゆくゆくはささえあい様のお世話になろうと思っていますが、これでは不安です。…組織を改革するのは大変なことだと思いますが、統合されたもっと流動的な（人の流れもお金の流れも）組織になるよう強く望みます。

Ⅱ．職員アンケートに回答164件

昨年12月1日～本年1月13日まで、金子洋二理事に委託して職員アンケートを実施しました。最近感じていること、仕事や職場などについて35項目の回答と自由記載（1万1000字超）があり、その集計結果が1月31日に報告されました。

詳細な検討は今後理事会などで行いますが、私（たち）に対する意見や要望、提案がたくさん出されており、それらをしっかり受け止めて法人の運営に活かしていきます。そのために、基本問題検討委員会や全体経営会議をはじめ、現場の職員会議などで議論を深め、最終的には理事会そして総代会で改革方針・事業計画として提案し審議の上で決定しましょう。

ささえあい生協の名前のとおり、役職員・組合員そして地域の住民（＝未組合員）・諸団体とも協同・連携して、よりよい社会を築いていきたい。

「ささえあい」の反対語は何か？　それは格差・分断・差別、孤立・排除・無関心、そして暴力・戦争だと思います。しかし、当法人の足元において本当に支え合ってやっているのか、そのことが厳しく問われ、疑問に思われる実態があるではないかというご意見やご指摘があります。私（たち）もそのことを感じて、まさにささえあい生協の現状を見直し改革しようとして考えいます。

今回の「ご意見」「アンケート」の内容を見て、当生協の改革の流れに対する皆さんの支持・勇気づけの言葉として励まされる思いがしました。

＊　＊　＊　＊　＊　＊

本年は、総代選挙の年です。総代選挙管理委員会から総代選挙の公告が出され（４ページ）、選挙により選出された新たな総代による総代会（6月25日開催予定）で、当生協の改革方針を決定し事業計画に基づいて改革への道を踏み出すことになると思われます。改革案の策定のゴールは『6月25日』です。

協同組合の改革は組合員全員の手で、ともに・ささえあって成し遂げたいと思いますので、引き続きご意見・ご提案そして議論と実行にも加わっていただくよう、お願い申し上げます。

《ご質問・ご意見をぜひお寄せください。》